九州運輸局メールマガジン　平成 30 年 4 月 26 日　第 382 号
～運輸と観光で九州の元気を創ります～
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/
九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。
九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。
次回の定期発行日は平成 30 年 5 月 10 日（木）です。

■ 目 次

１　現場リポート
◆「熊本地震犠牲者追悼式」に石井国土交通大臣が出席されました
～南阿蘇鉄道の復旧状況を視察～
◆「2018 九州ボートショーin 福岡」が開催される
～マリンレジャーの拡大に向けて、昨年よりも多くの人出でにぎわう～

２　お知らせ
◆めざせ！海技者 セミナー in FUKUOKA 2018 」開催決定！
◆5 月 5 日（祝）こどもの日　小学生の乗船無料
◆小型船舶に対する安全キャンペーンを実施します
◆平成 30 年 5 月からタカタ製エアバッグのリコール未改修の場合、車検が通らなくなります

３　運輸安全推進室だより　Vol2
◆自社の弱点（リスク）を見出すために
～まずは事故の傾向を掴むこと～

４　九州運輸局ホームページアップ情報
◆報道発表
◆お知らせ
◆更新情報

―― １　現場リポート ――

◆「熊本地震犠牲者追悼式」に石井国土交通大臣が出席されました
～南阿蘇鉄道の復旧状況を視察～

◎熊本地震の発生から 2 年を迎えた 4 月 14 日（土）、熊本県主催の犠牲者追悼式が熊本県庁で行われ、石井国土交通大臣が参列されました。
　その後、石井大臣は今年 3 月に着工した南阿蘇鉄道の災害復旧工事（犀角山工区）や高森駅を視察され、高森駅から中松駅までトロッコ列車に乗車されました。

◇九州運輸局からのメッセージ
　熊本地震により、道路や鉄道などの交通インフラや観光施設に甚大な被害が発生しました。
　鉄道については、従来の鉄道軌道整備法に基づく災害復旧費補助に加えて、東日本大震災や熊本地震といった特定大規模災害で被災した鉄道の復旧事業に対する新たな支援制度を今年 2 月に創設しました。
　これらの支援制度により、南阿蘇鉄道の一日も早い復旧に向けて、引き続き地域と連携して取り組んで参ります。

◇石井大臣の南阿蘇鉄道の視察の様子は、フォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_382_1.pdf
---

◆「2018 九州ボートショーin 福岡」が開催される
～マリンレジャーの拡大に向けて、昨年よりも多くの人出でにぎわう～

◎4 月 21 日（土）・22 日（日）の両日、福岡市ヨットハーバー（福岡市西区）において、「2018 九州ボートショーin 福岡」が開催され、九州運輸局もブースを出展して参加しました。

◇内容
・九州ボートショーは、九州におけるマリンレジャーの普及や、安全への啓発、ボートの利用振興による地域の活性化をめざすために開催されました。
・九州運輸局では、ボートの安全な利用や、落水から身を守るライフジャケットの着用促進、FRP 船のリサイクルなどを呼びかけたほか、「C to Sea プロジェクト」や、「海マジ!」の紹介や、九州各地の「海の駅」を積極的に PR しました。
・さらには、ボートショーでは、親子で楽しめる抽選会やクイズラリー、ボートの体験試乗会も催され、好天にも恵まれた結果、昨年を大きく上回る 2,666 名の来場者で賑わいました。

◇九州運輸局からのメッセージ
九州ボートショーは、今後、5 月 12 日（土）・13 日（日）に長崎サンセットマリーナ特設会場（長崎市福田本町）で、5 月 19 日（土）・20 日（日）に三角東港特設会場（熊本県宇城市三角町）でそれぞれ（両会場とも両日午前 10 時から午後 5 時まで）開催されます。両会場とも、ボート・ヨットの試乗会のほか、お楽しみ抽選会など盛りだくさんのイベントで皆様のご来場を心よりお待ちしております。

◇「2018 九州ボートショーin 福岡」の模様は、フォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_382_2.pdf

――― 2　お知らせ ―――

◆「めざせ！海技者 セミナー in FUKUOKA 2018 」開催決定！

九州運輸局は、6 月 13 日（水）に 船員の雇用促進のため「めざせ！海技者セミナー in FUKUOKA」を開催し、船員教育機関（海上技術学校）、水産系高校の生徒や一般の求職者を対象に、企業説明（面接）会を実施します。企業説明（面接）会への参加を希望する海運事業者の申し込みを、4 月 24 日（火）から 4 月 27 日（金）正午まで受け付けます。

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00081.html

◆こどもの日「国内旅客船の小学生運賃を無料とするキャンペーン」

全国で 81 航路、九州運輸局管内では 11 航路で、小学生の無料乗船や、小学生や幼児の方にオリジナルグッズの配布など様々なイベントが実施されます。
この機会にご家族で船に乗って海や自然と触れ合ってみてはいかがですか。

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。
http://www.jships.or.jp/children/

◆小型船舶に対する安全キャンペーンを実施します

九州運輸局では、海上保安部、管内の県警本部、日本小型船舶検査機構、地方公共団体及び九州地方整備局等と連携して、4 月 23 日から 8 月 31 日までの間に小型船舶の事故削減に向けた取組として、小型旅客船の安全性の向上に向けた指導やマリーナ・漁港等でのプレジャーボート等に対するパトロール指導を行う小型船舶の安全キャンペーンを実施します。

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/content/000033777.pdf

◆平成 30 年 5 月からタカタ製エアバッグのリコール未改修の場合、車検が通らなくなります

タカタ製エアバッグのリコール改修を促進するため、異常破裂する危険性が高い未改修車両については、平成 30 年 5 月より、車検で通さない措置を講じることとなりました。
つきましては、未改修車であった場合、そのままお乗りいただくと大変危険となりますので、一刻も早いリコール改修を実施してください。
参考：リーフレット【PDF】
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/content/000033740.pdf

詳細な内容につきましては、以下の項目をクリックするとご覧になれます。
〇エアバッグのリコール未改修車両を車検で通さない措置について（国土交通省）
http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/recallinfo_003.html
〇タカタ製のエアバッグの対応可能事業者一覧（国土交通省）
http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/takaka_dearer_list.htm

お問い合わせ先
国土交通省 タカタ車検停止措置専用ダイヤル ０３－６７４７－９５７５

――― ３ 運輸安全推進室だより ―――

・事故を未然に防ぐことは重要なことですが、まずは、自社の弱点となる事故の傾向を掴み、同じ事故を二度と起こさないために、きっちりと対策を立てて事故の再発防止から取り組むことが必要です。
・事故の傾向が分かってきたら、次に、対策を立てるべき対象の絞り込みを行います。複数の事故が該当するなら、事故の頻度、影響の大きさ等により判別します。
・調査結果を踏まえ、事故の再発防止のために何を行うのかを皆で議論し、実行に移すとともに、結果が表れない場合には、別の取組を思案するなど、取組を継続させることが必要となってきます。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_382_3.pdf

――― ４ 九州運輸局ホームページアップ情報 ―――

--- **◆報道発表** ---

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU

--- ◆お知らせ ----------
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE

--- ◆更新情報 ----------
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN

/////// 編集部だより //
本日4月26日は世界知的所有権の日です。メルマガを編集するにあたっては著作権などの知的所有権はもとより様々な皆さんの様々な権利を侵害しないように気をつけています。一方で取組をわかりやすく伝えるよう写真などは積極的に活用しようと心がけています。やり過ぎず、しかしわかりやすいように情報をどこまで掲載するか常に悩むところです。難しく考えると頭がのぼせてきました。4月26日はよい（4）ふろ（26）の日でもあります。ひとまず、お風呂に入ってリフレッシュし一休みすることにします。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。
//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm
■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html
■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
Mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp
Tel ： 092-472-2312　Fax ： 092-471-7192